

# 常任委員会の審査概要

本市議会では、四つの常任委員会を設置しています。今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して詳細な審査を行いました。各委員会の質疑を紹介します。

## 総務経済常任委員会

議案11案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

### ◆平成30年度一般会計予算

総務費の障がい者ワークステーション事業について、「夢のタネ」を26年度に開設した。来年度は障がい者スタッフ2人、ジョブコーチ1人を増やす。これまでの実績を伺う。

9人の障がい者スタッフを雇用し、そのうち4人が一般就労などをしたことが3年間の成果である。

ふるさと寄附金事業について、29年度の寄附金額と件数を伺う。

30年2月末まで、2050万余円、約1100件の寄附があった。

予定額より低くなっているが、市外の人へのPRが少ないのではないかと懸念している。



ふるさと寄附金事業で用意しているお礼の品の様子

29年度は、新聞の折り込み広告なども行った。今後も積極的にPRしていきたい。

庁用車両管理事業で、ドライブレコーダーの設置を推進する。庁用車が約300台あるが、現在の状況と設置予定数を伺う。

現在110台に設置している。公道を走らない車まで導入していくのか。

農林水産業費の担い手総合対策事業で、農業の新たな担い手をどのように導入させていくのか。

リトアニア共和国との事前キャンプや交流を進めるため、総合的なアドバイスを委託する。

漁港施設維持管理事業で、水産業強化支援ということで委託料を計上しているが、内容を伺う。

ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジを実施していくために、新港背後地における多目的広場などの施設の検討を行う。

国の農業次世代人材投資資金という交付金を活用し、予算を拡充して認定新規就農者の就農当初の支援を行っていく。

ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジを実施していくために、新港背後地における多目的広場などの施設の検討を行う。

ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジを実施していくために、新港背後地における多目的広場などの施設の検討を行う。

ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジを実施していくために、新港背後地における多目的広場などの施設の検討を行う。

ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジを実施していくために、新港背後地における多目的広場などの施設の検討を行う。

## 都市建設常任委員会

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案7案件のうち1案件は原案どおり承認すべきもの、6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

## 環境厚生常任委員会

議案12案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願2件はいずれも継続審査とすべきものと決定しました。

民生費の余熱利用施設管理運営事業について、29年3月から供用を開始した余熱利用施設の利用者数とその地区別の割合を伺う。

30年1月までの利用者数は約6万4500人で、地区別の割合は大神・吉原地区が25・6%、田村地区が21・9%、その他の地区が52・5%である。

介護老人福祉施設整備費等助成事業は大幅な減額である。特別養護老人ホームの待機者が29年10月1日現在で418人いるが、どう考えているのか。

高齢者福祉計画（介護保険事業計画）に沿って整備を進めている。29年度は2施設を設置し、最大で200床が確保できるため、待機者数も減ると考えている。30年度、設置する場合には公募を行い、31年度、32年度で整備をする。

民間保育所施設整備支援事業では、民間保育所の施設整備などの経費の一部を助成する。30年度はどこが整備されるのか。

29年度から実施している高村保育園と民営化する花水台保育園で施設整備が行われる。また、小規模保育施設や分園の整備を公募する予定である。

衛生費の健康増進事業で、がん検診について新たな設置数の考えを伺う。

窓口センターの再編はコンビニ交付導入時に課題として挙がっていたが、交付の状況、実績を十分に踏まえ検討することとした。

衛生費の聖苑管理運営事業で予算が約6700万円増加する理由を伺う。

聖苑の安定的な運営を維持するため、計画に基づいた必要な設備の修繕などを行う予算を計上した。

平成30年度一般会計予算の下水道管を計画的に更生して、長寿命化させることの見解を伺う。

ストックマネジメント計画を策定し、持続可能な下水道機能の確保と健全な経営に努めていきたい。

平成30年度一般会計予算の下水道管を計画的に更生して、長寿命化させることの見解を伺う。



余熱利用施設 (リフレッシュ) プラザ平塚



平塚駅北口の案内サイン

## 教育民生常任委員会

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

改正で個人情報識別符号と要配慮個人情報定義されるが、その意義を伺う。

情報通信技術の発達により、個人の行動や状態などに係る情報を分析することで国民へのサービスの向上が図られている。情報の利活用と保護の強化のため新たに定義された。

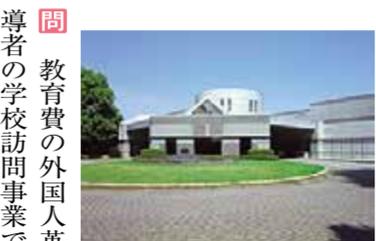
平成30年度一般会計予算の総務費の地域窓口センター事業について、マイナンバーカードによる住民票などのコンビニ交付が始まった。市民窓口センター

の設置数の考えを伺う。

窓口センターの再編はコンビニ交付導入時に課題として挙がっていたが、交付の状況、実績を十分に踏まえ検討することとした。

衛生費の聖苑管理運営事業で予算が約6700万円増加する理由を伺う。

聖苑の安定的な運営を維持するため、計画に基づいた必要な設備の修繕などを行う予算を計上した。



平塚市聖苑

ごみ収集運搬事業について、ごみの収集運搬には相当の人員費が掛かっている。収集車の乗車人数を3人から2人にするなど経費の削減ができないか。

乗車定員は交通安全と安全作業の実施を考慮し、大型車に3人、小型車に2人としている。職員数の減少などに合わせて効率的な車両配備や職員配置などを行っていきたい。

E.T.(外国人英語指導者)を9人から11人に増やすが、授業はどう変わるか。

A.E.T.が、小学校3、4年生と5、6年生を訪問する時間を増やす。外国語活動の時間の半分をA.E.T.が受け持つように考えている。

介助員派遣事業では、看護師資格を有する介助員を1人増員するが、どのような支援体制になるのか。

医療的ケアを必要とする児童は3人いる。4人体制でシフトを組み、各1人は介助員がいる状態をつくるよう努力していく。

各種スポーツ大会開催事業で30年度初めて実施する「ひらつかパラスポーツフェスタ」の内容を伺う。

ポッチャの競技大会やパラリンピック種目の体験会、活躍する選手の写真展示などを予定している。